

連合総研ブックレットNo.9
 「ポスト 3.11」の経済・社会・労働に関する研究
 —プロジェクト報告（講演録）—

2011年の3・11東日本大震災・津波と福島第1原発の事故は、かつてない甚大な被害をもたらすとともに、日本社会がすでに直面していた危機をあらためて浮き彫りするものとなった。そのため、「復興・再生」のプロセスは、これまでの経済・社会・政治の枠組みそのものの見直しを伴うものでなければならない。そして、すでに具体的な課題として私ども目の前に現れてきているものもある。

連合総研は、そうした課題を整理するために、開かれた討議の場を作り、今後の方向性を探っていくことを目的に、2011年度（2011年10月～2012年9月）の所内プロジェクトとして、『ポスト3・11』の経済・社会・労働に関する研究プロジェクトを設置した。

具体的には、「新たな豊かさ」、「成熟社会の経済政策」、「連帯経済」、「雇用・就労のあり方」、「新たなコミュニティ作り」、「参加民主主義と労働組合の役割」などのテーマで、6回にわたるワークショップを開催し、研究者からの問題提起とそれを受けた討論を行った。

各回のワークショップにおける研究者の講演内容はいずれも、今後のわが国のあり方にかかわる重要かつ示唆に富んだものであり、これまで月刊誌DIOに掲載してきたが、今回あらためて、本ブックレットに再編集した。

目次

はじめに

第1回 テーマ:「新たな豊かさ」を考える—「成長」か「脱成長」か—

講師:中野 佳裕 国際基督教大学社会科学研究所助手・研究員

高橋 伸彰 立命館大学国際関係学部教授

盛山 和夫 東京大学大学院人文社会学系研究科教授

<パネルディスカッション>

第2回 テーマ:「成熟社会の経済政策—災害対応・エネルギー・高齢化—」

講師:小野 善康 大阪大学フェロー

第3回 テーマ:「連帯経済—ポスト3.11の日本経済像—」

講師:西川 潤 早稲田大学 名誉教授

第4回 テーマ:「震災後の社会システム—今後の雇用・就労の在り方—」

講師:高木 郁朗 日本女子大学名誉教授

第5回 テーマ:「ポスト成長時代の社会構想—資本主義・コミュニティと『グローバル化の先のローカル化』—」

講師:広井 良典 千葉大学法経学部教授

第6回 テーマ:「参加民主主義と労働組合の役割」

講師:中北 浩爾 一橋大学大学院社会学研究科教授